

研修報告書

1. 研修報告書
2. 質問項目についての報告

氏名	匿名		
所属大学	東京工業大学	学部	
学科	物質理工学院	学年	D1
専門分野	応用化学		
派遣国	ドイツ	Reference No	DE-2023-2073-1
研修機関名	Hochshule Merseburg	部署名(任意)	
研修指導者名(任意)	Beate Langer	役職(任意)	Prof. Dr.
研修期間	2023 年 8 月 1 日 から 2023 年 10 月 31 日 まで		

1. 研修報告の概略を1 ページ以内にまとめてください。

2023 年 8 月 1 日から 10 月 31 日まで、ドイツの Hochschule Merseburg にて 3 ヶ月間の研修を行なった。AC オファーで応募したため、研修先は自動的に決定された。アコモデーションとしては大学寮が使用できることが決まっていた為、特に滞在場所などの決定等におけるトラブルは無かった。

研修内容としては、Prof. Dr. Beate Langer の研究室にて、プラスチックの機械的特性評価の研究を行なった。日本で研究している内容とは全く異なる分野だったので、当初は一から勉強及び文献調査を進めることになった。その後、試料の機械的特性を調べる実験を開始したが、異なる分野であるため、ほとんどの実験・解析を初めて経験した。一方で、背景知識などはシンプルであったので、特に問題なくスムーズに結果を出すことができた。

ディスカッション等は時々ドイツ語を用いて行われるので話についていけない部分もあったが、その他の英語で行われるコミュニケーションは特に問題は無かった。最終月には最後の成果発表を行い、すべてのインターンのプロジェクトは無事に終了した。

2. 研修内容および派遣国での生活全般について写真を含めて 4 ページ程度で具体的に報告してください。

(研修日誌、テクニカルレポートや単位認定用のレポート等)

1. 研修について

配属された研究室は材料科学系の研究室であったため、私の専門分野である応用化学とは物質という観点では近いが、扱っている学問という見方では全く異なる内容であった。従って、配属前は知識はほぼ皆無の状態からスタートした。最初の 2 週間程度は、専門分野の勉強と関連研究の文献調査のみを行なった。必要な基礎知識や専門用語などはこの期間に習得することができたため、後の実験やディスカッションに役にたったと思われる。その後は、スーパーバイザー指導の元で実験を開始したが、自身が日本で行なっている研究に比べると遥かに簡単であったので、機械の使用方法などは短期間で習得できた。最初の月は、分析に必要な試料の作製および簡単な機械的物性評価を行なった。次月以降は、より詳細な特性を調べるために、別のタイプの測定評価を行い、そこで得られた各種パラメータをそれぞれの試料で比較することで、どの要素が物性の違いに起因するかの考察を行なったり、表面観察を行うために顕微鏡で試料の観察などを行なった。最後の月には成果をまとめてプレゼンすることで、解析の整合性や考察の妥当性などについて改めてディスカッションを行なった。研究室内は、ドイツ人のほかにシリア人、バングラディッシュ人、ロシア人などのメンバーもいたが、自分を除いて彼らはドイツ語が堪能であったので、時々ドイツ語での議論が行われた。一方で、私のドイツ語はビギナーレベルであったので、ほとんど英語で議論を行なった。



2. 生活全般について

・大学生活について

Merseburg は旧東ドイツ (Leipzig の少し西側) に位置するので、歴史的な理由から、特に年齢層が上がってくると殆ど英語が通じなくなる。特に大学は Merseburg hbf (中央駅) から比較的離れており、田舎のような場所にあるので、高齢者が多いほか、大学の学生も英語が上手な人はそれほど多くない印象であった (話せるけど自信がなくて話したがらない人も多い)。従って、生活をするにはドイツ語の学習が必須であり、最初の月は色々な言葉を覚えるのに苦労した。ある程度コミュニケーションが可能になると、簡単な会話をするのには苦労しなくなったが、英語が苦手な学生の友達を作ることは困難であった。友達などは、学内のイベントへ参加したり、週一で開催されるサッカーに参加したりすることで作ることができた。

・IAESTE のイベント関連について

8 月下旬に IAESTE Germany 主催の IAESTE weekend に参加し、Bayern 州の Nürnberg を訪れた。主に研修生はドイツ周辺のヨーロッパ (スペイン、スイス、オーストリアなど) が多かったが、他にもエジプトやギリシャなど、比較的遠方からも参加者が来ていた。イベント内では、歴史的な建築物のツアーであったり、ドイツ料理を堪能したりとの経験をすることができた。



・休暇について

時間ができた時には、友人と Merseburg 周辺の都市に遊びに行ったりすることが多かった。特に音楽家のバッハが働いていたとされる Halle (Salle) までは電車で 10 分で行けたので、そこに遊びに行く機会が多かった。また、10 月の下旬には IAESTE で知り合ったスペイン人の友人に会うために Valencia を訪れたほか、他の友人に会うために Copenhagen など訪れた。

Ⅱ. アンケート

以下の質問にお答えください。

A. 研修内容について

1. 研修内容は、O-form に記載されていたとおりでしたか。(はい・いいえ)
「いいえ」と答えた場合、どこが違っていたか具体的に記述してください。
2. 就業時間は、O-form に記載されていたとおりでしたか。(はい・いいえ)
実際の就業時間: 1日(6-7)時間
1週(3-4)日間;(月)曜日から(金)曜日のうち
3. 研修先から支払われた“滞在費”は、現地通貨で週いくらでしたか。“滞在費”の内訳と日本円に換算した金額をあわせて書いてください。
週単位: 現地通貨(934 Euro) 日本円(149,300 円)
全支給額: 現地通貨(2803 Euro) 日本円(448,000 円)
4. 研修先から支払われた“滞在費”は、生活するのに十分なものでしたか。(はい・いいえ)
「いいえ」と答えた場合、何にいくらぐらい足りませんでしたか。
5. “滞在費”はどのように支払われましたか。(例:現金手渡し・銀行振込・小切手等)

現金手渡し
6. 研修中の滞在先について、宿舍の形態、周辺地域の環境や治安について詳しく記述してください。

宿舍の形態: 5 人部屋の寮(1 人 1 部屋、中央に共通空間、バストイレキッチンが共通)

周辺地域の環境や治安: 大学周辺は田舎なので犯罪などは滅多に起こらず、安全に感じた。一方で中央駅はアラブ系移民も多く、治安は良くなさそうな印象はある。

7. 研修中の滞在先(宿舎)から研修地までの通勤について書いてください。(交通の便・手段・費用等)

徒歩で 5 分程度

8. 研修先での職場環境(人間関係)は良かったですか。(はい・いいえ)

「いいえ」と答えた場合、不満だった点を書いてください。

9. 研修において、何か特別なプロジェクトに参加しましたか。(はい・いいえ)

「はい」と答えた場合、参加したプロジェクトの内容を記述してください。

10. 研修において、あなたの語学力(O-form に記載されている Required Language)は客観的に見て十分だったと思いますか。(はい・いいえ両方)

思った以上に英語が使えなかったなので、もう少しドイツ語を勉強すれば良かったと感じた。

B. 生活について

1. 研修以外の時間(勤務時間後や週末)はどのように過ごしましたか。

旅行、サッカー、友人と食事、日本の研究室の仕事など

2. 研修地で IAESTE 事務局主催の催しに参加しましたか。(はい・いいえ)

「はい」と答えた場合、参加したプログラムの内容とあわせて感想も書いてください。

上記の通り、IAESTE Germany 主催の IAESTE weekend に参加し、Bayern 州の Nürnberg を訪れた。アクティブな人たちもいて楽しかった。

3. 派遣国で、その国の伝統文化に触れるような機会がありましたか。(はい・いいえ)

「はい」と答えた場合、どのようなものに参加したか、感想も詳しく書いてください。

4. 派遣国の印象を、現地へ行く前と行った後のイメージの変化も含め、詳しく書いてください。

前: ドイツ人は厳格なイメージ

後: 意外と適当な人が多い(厳格な人もいる)

5. 研修国で、日本のことについて質問をされましたか。(はい・いいえ)

アニメが人気だった。

C. IAESTE との連絡

1. 研修出発前、手続き上何か問題がありましたか。(はい・いいえ)

「はい」と答えた場合、問題点を詳しく書いてください。

2. 派遣国への入国時に何か問題がありましたか。(はい・いいえ)

「はい」と答えた場合、問題点を詳しく書いてください。

3. 派遣国到着後、宿舎ならびに研修先へ自分ひとりで行きましたか。(はい・いいえ)

「いいえ」と答えた場合、誰と行きましたか。

大学の”Buddy service”と呼ばれる新人をサポートするサービスからの学生

4. 3で「派遣国の IAESTE 事務局」と答えた場合、IAESTE 事務局はどのように関与していましたか。
出発前から連絡を取っていたなど、分かる範囲で具体的に書いてください。

5. 研修初日、研修先の受入準備体制は万全でしたか。(はい・いいえ)

「いいえ」と答えた場合、何に不備があったか書いてください。

6. 研修前から研修期間中、派遣国の IAESTE 事務局は、どのように関与していましたか。
研修期間中、問題が起こったときに適切な対応もしくは助言をしてくれましたか。

特になし

D. その他

1. 今回の IAESTE 研修を通して、最も良かったと思うことを書いてください。

・ドイツの国、歴史、教育、人などについて色々知ることができたこと。

2. 研修予定内容に関して事前に勉強をして行きましたか。(はい・いいえ)

「はい」と答えた場合、何を勉強し、どう役立ったかを書いてください。

「いいえ」と答えた場合、事前に勉強をしなかった理由を記述してください。

何とかなるだろうと考えていた。

3. 研修終了時に、受入企業に研修レポート(Technical Report, Training Diary を含む)を提出しましたか。

(はい・いいえ)

4. 日本出国前に準備しておいたほうが良いと思われることを書いてください。

その国の言語+英語が苦手な人は英語

5. 所持金やクレジットカード等、いくら・どのように持参されたか、また準備が十分であったかを書いてください。

1200 Euro 弱を両替して現金で持って行った。ギリギリ足りた。

6. 日本から持参した物の中で、特に役に立ったもの、あるいは必要ななかったものがあれば書いてください。

7. 来年以降、あなたが派遣された国へ、研修生として派遣される候補生に向けての助言を書いてください。
(研修のことだけでなく、語学面や生活面など、気が付いたことはできるだけ詳しく)

体調に気をつけてください。

8. 研修前と研修後で、自身の専門分野や国際理解に対する考え方に、どのような変化がありましたか？

ドイツは他民族国家であることを改めて認識した。

9. 今回の研修に参加したことで、海外への留学に興味を持ちましたか？すでに興味を持っていた方は、その気持ちに変化はありましたか？

よりドイツへの興味が高まった。

10. 今後 IAESTE での研修を考えている学生の方々へ、メッセージがあればお書きください。

決めたら早いうちに準備して勉強を進めてください。